

年度	2025
科目名	看護研究Ⅰ
学部／大学院	看護学研究科 修士課程
講義区分	講義・演習
基準単位数	2.0
総開講時間数	30.0
代表曜日	金曜日
代表時限	1 時限
講義開講時期	前期
開講時期	前期

担当教員

氏名
中信 利恵子
◎ 百田 武司

授業概要	研究の基本的概念、および研究の過程について学習し、各自が探究しようとしている研究課題（その時点における）に基づき研究計画書を作成するにあたっての留意点を学び、研究者としての基礎的能力を育成する。本科目では、看護研究のプロセスと多様な看護学で活用する研究法、文献クリティック、研究における倫理、量的・質的研究法の基礎を学ぶ。 この授業科目は、ディプロマポリシー1-3.1-5.2-5.に対応する。
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護実践と研究の関連性を理解する。 2. 研究目的に合わせた研究方法としての質的研究と量的研究の相違点を理解する。 3. 研究における文献活用の意義を理解し、効率的に文献を検索できる。 4. 研究における倫理的配慮について理解する。 5. 研究論文を批判的に吟味できる。 6. 研究計画書を立案にあたっての留意点を理解する。

授業内容

回	内容	予習復習	遠隔授業	担当教員
第1回	看護研究の目的、看護研究と看護実践の関連、エビデンス（研究成果）に基づく看護実践	①pp.3-25,690-721 ②pp.15-35, 83-101		百田
第2回	研究者としての倫理、科学者としての行動規範	①pp.143-164 ②pp.153-188		百田
第3回	研究のプロセス、研究課題の明確化、研究目的に合わせた研究方法の特徴	①pp.46-62, 65-88, 227-249 ②pp.36-81,102-119,136-152		百田
第4回	文献検討の意義と位置づけ、効果的な文献検索 論文の種類と論文の構成	①pp.89-114, 615-646 ②pp.120-135		百田
第5回	研究目的と量的研究のデザイン 質問紙調査を中心とした量的研究におけるデータ収集	①pp.165-204, 298-324, 327-350, 351-386, 387-410, 411-426, ②pp.330-391,491-513	遠隔授業可	百田
第6回	測定用具の信頼性と妥当性 量的データ分析の概略（記述統計・推測統計・多変量解析）	①pp.427-462、465-489, 490-522, 523-557 ②pp.363-425,514-565	遠隔授業可	百田
第7回	量的研究と質的研究の相違、質的研究の基礎となる哲学 質的研究法の種類（グラウンデッド・セオリー、エスノグラフィー、現象学など）	①pp.46-62, 250-279 ②pp.15-35, 60-82		中信
第8回	質的研究におけるデータ収集方法：インタビュー法① サンプリング、インタビューの方法	①pp.342-386 ②pp.253-289		中信
第9回	質的研究におけるデータ収集方法：インタビュー法② インタビューガイドの作成、研究者に必要なトレーニング	②pp.253-289, 402-404		中信
第10回	質的研究におけるデータ収集方法：参加観察法 研究者に必要なトレーニング、フィールドへのエントリー、フィールドノート作成	①pp.387-410 ②pp.253-289, 400-402		中信

第11回	研究論文のクリティック	①pp.89-114, 673-689 ②pp.427-444	遠隔授業可	百田
第12回	質的研究におけるデータのもつ意味 観察やインタビューなどから得られたデータの読み方、分析の仕方	①pp.582-612 ②pp.253-289	遠隔授業可	中信
第13回	質的研究で用いられるデータ分析の方法 質的研究における分析結果の判断基準	①pp.582-612 ②pp.253-289	遠隔授業可	中信
第14回	ミックスドメソッドの必要性 どのようなときにこの研究法が必要になるのか	①pp.280-297 ②pp.311-329	遠隔授業可	中信
第15回	研究計画書の意義と作成上の注意 研究計画書の基本的形式	①pp.647-669 ②pp.606-643	遠隔授業可	百田

参考文献	①Polit, D. F., & Beck, C.T.(2004)/近藤潤子(監訳) (2010). 看護研究 原理と方法(第2版). 医学書院. ②Gray, J. R., Grove, S.K. (2021)/黒田裕子, 逸見功, 佐藤富美子 (2023). 看護研究入門 原著第9版-評価・統合・エビデンスの生成. エルゼビア・ジャパン. ③前田樹海, 江藤裕之 (2023) . APAに学ぶ 看護系論文執筆のルール(第2版). 医学書院. ④日本学術会議 (2013) . 声明「科学者の行動規範－改訂版－」 http://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-22-s168-1.pdf その他授業時に提示する。
評価方法	プレゼンテーションや資料、授業の参加・貢献度：30%、最終課題「レポート：自身の研究疑問を構造化しFINER基準で検討する」：70% 授業中にプレゼンテーション内容や方法等についてコメントを返す。最終課題にはコメントをつけて返却を行う。
備考	この授業科目は、高度実践看護師教育課程審査における「看護研究」に該当する。 遠隔授業として参加可能な授業は上記の授業内容に示しています。事前に担当教員に申し出てください。
オフィスアワー	百田：金曜日 12：30～14：30 ／ 中信：金曜日 12：30～14：30

年度	2025
科目名	看護研究Ⅱ
学部／大学院	看護学研究科 修士課程
講義区分	講義・演習
基準単位数	2.0
総開講時間数	30.0
代表曜日	金曜日
代表时限	1 時限
講義開講時期	前期
開講時期	前期

担当教員

氏名
◎ 百田 武司

授業概要	看護現象を探究する研究方法について量的な観点から学習する。記述統計と推測統計において、基本的な統計量の読み方を学び、多変量解析の概略について理解する。また、量的データを用いた看護研究論文のクリティックを通して、研究目的に対応した尺度の選択、および統計解析手法の利用方法を学ぶ。この授業科目は、ディプロマポリシー1-3.1-5.2-5.に対応する。
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 記述統計と推測統計の、基本的な統計量の読み方を考えることができる。 研究目的に適切な研究デザインを考えることができる。 研究目的に応じた対応した種々の統計手法を選択することができる。 量的な研究と質的な研究に対して基礎的な水準のクリティックをすることができる。

授業内容

回	内容	予習復習	遠隔授業	担当教員
第1回	診療ガイドラインの成り立ち	資料配布		百田
第2回	量的研究における研究プロセスの概観	資料配布 ①pp.46-62		百田
第3回	文献検討の方法	資料配布		百田
第4回	仮説の設定、標本抽出（サンプリング） 量的研究のデザイン（関連検証、因果関係検証、実態調査・因子探索）	①pp.65-88.165-204. 298-324 ②pp.125-142.175-236. 316-344. 371-403		百田
第5回	量的研究における概念と概念枠組み 研究課題と概念枠組みの明確化	資料配布 ①pp.115-140 ②pp.68-88.106-124	遠隔授業可	百田
第6回	文献の情報整理・文献の読み方（クリティック）	資料配布	遠隔授業可	百田
第7回	質問紙調査を中心とした量的研究におけるデータ収集	資料配布 ①pp.465-480 ②pp.456-344	遠隔授業可	百田
第8回	測定の概念、尺度水準、変数の明確化 エンドポイントの選択の方法	資料配付 ①pp.427-462 ②pp.175-236	遠隔授業可	百田
第9回	データの収集方法と管理 集計作業の流れ、データ・クリーニング、コーディング	資料配付 ①pp.465-480 ②pp.456-344	遠隔授業可	百田
第10回	記述統計（平均とバラツキ、母集団と標本、分布、相関分析）	資料配付 ①pp.465-489	遠隔授業可	百田
第11回	推測統計① 正規分布、仮説検定、質的変数と質的変数の関連、	資料配付 ①pp.490-522	遠隔授業可	百田
第12回	推測統計② 平均値の差の検定、相関分析、順位相関係数	資料配付 ①pp.490-522	遠隔授業可	百田

第13回	多変量解析の概略 重回帰分析、共分散分析、因子分析	資料配付 ①pp.523-557	遠隔授業可	百田
第14回	実際の研究例 調査研究	資料配布	遠隔授業可	百田
第15回	研究の公表 学会発表の仕方	資料配布	遠隔授業可	百田

参考文献	①Polit, D. F., & Beck, C.T.(2004)/近藤潤子(監訳)(2010). 看護研究 原理と方法（第2版）. 医学書院.
	②Grove, S.K, & Burns, N.,& Gray, J. R.(2013)/黒田裕子, 中木高夫, 逸見功(2015). 看護研究入門-評価・統合・エビデンスの生成-(原著第7版). エルゼビア・ジャパン.
	③小笠原知枝, 松本光子(2012). これからの看護研究（第3版）. ヌーベルヒロカワ.
	④Hulley, Stephen B .,Cummings, Steven R, et al.(2013)/木原雅子, 木原正博(訳)(2014). 医学的研究のデザイン 研究の質を高める疫学的アプローチ(第4版), メディカル・サイエンス・インターナショナル.
	⑤牧本清子, 山川みやえ (2020). よくわかる看護研究論文のクリティイク 第2版：研究手法別のチェックシートで学ぶ. 日本看護協会出版会.
評価方法	プレゼンテーションや資料、授業の参加・貢献度：30%、課題「研究論文のクリティイク」：70% 授業中にプレゼンテーション内容や方法等についてコメントを返す。
備考	遠隔授業として参加可能な授業は上記の授業内容に示しています。事前に担当教員に申し出てください。
オフィスアワー	百田：金曜日 12：30～14：30

年度	2025
科目名	統計学
学部／大学院	看護学研究科 修士課程
講義区分	講義・演習
基準単位数	2.0
総開講時間数	30.0
代表曜日	金曜日
代表時限	5 時限
講義開講時期	後期
開講時期	後期

担当教員

氏名
◎ 梶 正之

授業概要	看護の研究・教育を行う上で必要となる統計的手法に関する知識を、統計解析ソフトウェア（としてR）を使用した演習を通して学習する。具体的には、仮説検定、区間推定、回帰分析、ロジスティック回帰分析、比例ハザード回帰分析などを取り上げる。 この授業科目は、ディプロマポリシー1-3.1-6.2-2.2-5.に対応する。
	1. 仮説検定を理解し、目的に適した検定を使うことができる。 2. 重回帰分析、ロジスティック回帰分析、比例ハザード回帰分析などの多変量解析の手法を理解し、用途に応じた分析を使うことができる。

授業内容

回	内容	予習復習	担当教員
第1回	統計とは、統計ソフトの使い方と準備、データの種類、記述統計	配付資料	梯
第2回	母集団、標本、母集団分布	配付資料	梯
第3回	統計量、標本分布	配付資料	梯
第4回	区間推定と仮説検定	配付資料	梯
第5回	パラメトリック検定	配付資料	梯
第6回	ノンパラメトリック検定	配付資料	梯
第7回	相関分析と単回帰分析	配付資料	梯
第8回	单変量解析と多変量解析の違い	①pp.11-24	梯
第9回	重回帰分析-重回帰モデルとは	①pp.25-46	梯
第10回	重回帰分析-説明変数の扱い方と解釈、残差分析	①pp.47-107	梯
第11回	重回帰分析における交絡とインターアクション	①pp.107-132	梯
第12回	分散分析	①pp.133-159	梯
第13回	オッズ比とロジスティック回帰分析	①pp.160-182	梯
第14回	ロジスティック回帰分析における交絡とインターアクション	①pp.183-206	梯
第15回	比例ハザード回帰分析と傾向スコア分析	①pp.231-259	梯

参考文献	①新谷涉 (2017). みんなの医療統計 多変量解析編. 講談社. (必須文献)
	②栗原伸一(2011). 入門統計学. オーム社
	③内田治, 西澤英子 (2012). Rによる統計的検定と推定. オーム社.
	④藤井良宜, 佐藤健一, 富田哲司, 和泉志津恵 (2015). 医療系のための統計入門. 実教出版
	⑤柴田康順 (2018). 心理統計の使い方を学ぶ. 大正大学出版会.
	⑥星野匡郎・田中久穂 (2016). Rによる実証分析－回帰分析から因果分析へ－. オーム社.
	⑦森脇睦子・林田賢史 (2024). いまから始める看護のためのデータ分析－病院電子カルテデータの活用ガイド－. 東京図書.
	⑧森脇睦子・林田賢史 (2024). 6ステップで実現する 看護マネジメント・質改善につなげるデータ分析入門. 医学書院.

予習復習	予習は、シラバス掲載の文献・配布資料や予告・指示などを参考に行う。復習のための、演習問題を適宜だすので指定した期限までにやっておく。質問は隨時受け付けるので、学習した内容は次回までに復習しておく。
評価方法	授業への参加・貢献度（授業中に作成したファイルの提出・課題等の提出を含む）：30%、レポート：70% 課題等で解答・解説が必要なものに関しては資料を配布する。レポートに対する総評を公開する。
オフィスアワー	梯：講義後

授業科目名	時間数(単位)	担当教員名	開講時期
特別研究 I	60 (2)	川西美佐、田村由美、村田由香 奥村ゆかり、山村美枝、中信利恵子 百田武司、山本浩子、中村もとゑ、 戸村道子、水馬朋子、松原みゆき	1年次

【授業概要】

専攻領域に関連する研究課題を選択し、それに関連した先行研究の文献を検索する。そして、文献を批判的吟味し、先行研究で明らかなことと明らかでないことを明確にする。最終的に、自身が取り組もうとする研究課題を明確化し、研究計画書（ドラフト版）としてまとめ、事前検討会で発表する。
この授業科目は、ディプロマポリシー1-3. 1-5. に対応する。

【到達目標】

1. 先行研究の文献を検索することが出来る。
2. 文献を批判的吟味し、先行研究で明らかなことと明らかでないことを明確にすることが出来る。
3. 研究課題を明確にすることが出来る。
4. 大括な研究計画書を作成することができる。

【授業内容】	担当教員
文献検索	(基礎看護学) 川西
文献の批判的吟味	(看護教育・管理学) 田村、村田
研究課題の探索	(母性看護学) 奥村
研究課題の明確化	(小児看護学) 山村
研究デザインの検討	(成人看護学) 中信
分析方法の検討	(老年看護学) 百田、山本、中村
倫理的配慮の検討	(精神看護学) 戸村
研究計画書（ドラフト版）の作成	(地域看護学) 水馬、松原
研究計画を「事前検討会」で発表	(災害看護学) 中信
・事前検討会の開催は年2回（前期7月/後期2月）	
・発表時間10分/質疑応答10分	
研究計画書（ドラフト版）の提出	
（事前検討会で発表後、1週間以内に主指導教員へ提出する）	

【参考文献】

適宜紹介する。

【評価方法】

研究指導教員が研究計画書審査基準(P38参照)により総合的に評価する。

【備考】

専門看護師コース履修者は、「課題研究」に代えて、「特別研究 I・II・III」を履修することができる。

【オフィスアワー】

履修ガイド P4(教員一覧)参照